

第6回災害復旧技術講習会(2025.02.05)

近年、全国各地において激甚な自然災害が頻発しており、被災市町村における災害復旧事業については、災害査定などの普段体験しない迅速な対応と膨大な実務が求められます。

こうした状況の中、当協会では、平成29年九州北部豪雨災害により被災した福岡県の朝倉市や東峰村に対して、災害復旧技術専門家と連携を取りながら、災害復旧の支援活動を行って参りました。

これらを踏まえ、令和4年度より、災害対応能力の向上に資することを目的として、九州内の市町村職員や災害復旧事業に携わる技術者の方々を対象に、年度内に2回、災害復旧事業を基礎から学ぶ講習会を設け、特に今回は、災害査定受検後のフォローアップや市町村職員へのDXのPRを中心に開催しました。

今回、会場受講40名、Web受講126名のお申込みをいただきましたが、当日は降雪のためWeb配信のみでの開催となり、また、災害対応のため九州地方整備局の講習も中止となりましたが、約120名の方々に聴講していただきました。この対応として、当日聴講できなかった方や再度聴講したい方へ向け、九州地方整備局の講習も後日収録し、全講習分をYouTubeにて期間限定で配信しています。



(一社)九州地域づくり協会
理事長 田中 慎一郎

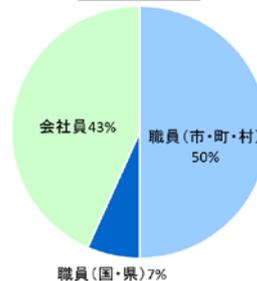


災害復旧技術専門家
後藤 信孝 氏



(一社)九州地域づくり協会
企画課長 秀徳 典穂

受講者の内訳



今回の講習会では、前回より市町村職員の受講者数が大幅に増え、アンケート結果からも「講師の実績に基づく見解が聴けて良かった」「定期的受講することで知識を再確認し、技術向上につながる」「資料を見返して理解を深めたい」など、今後の業務に活用できる有意義な講習会となりました。

カリキュラム

- ①「令和6年最新情報及びよくある事例(失格・欠格事例)等について」
- ②「応急仮工事・応急本工事について」
- ③「改良復旧事業について」
災害復旧技術専門家 後藤 信孝 氏
- ④「災害査定動向及びDXを用いた新しい災害査定」
国土交通省 九州地方整備局 災害対策マネジメント室 課長補佐 矢羽田 成巧 氏
調整係長 青木 丈治 氏
- ⑤「被災市町村への支援」
(一社)九州地域づくり協会 企画課長 秀徳 典穂

